

## 単元名 私たちと国際社会

配当時間 15時間

- 単元の目標 (1) 領土と国家主権、国際連合のはたらきなどの基本的な事項を基に、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割の大切さについて理解するとともに、国家の主権や国際協調に関する様々な諸資料から情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。
- (2) 日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について、文化と宗教の多様性及び日本国憲法の平和主義、SDGs 達成に向けた取組などを基に、対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性といった見方・考え方を生かしながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。
- (3) 私たちと国際社会について、現代社会に見られる課題や解決方法を考える活動を通して、主体的に社会に関わろうとする。

## 標準的な展開例

12220301\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 私たちの生活と国際社会との関わりについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 漫画「チョコレート王国」を読む。</li> <li>★ 漫画を通して、私たちと国際社会の「見方・考え方」をとらえよう。</li> <li>○ A国の子どもは、どのような人権を侵害されているかについて話し合う。</li> <li>○ B国から受けた注意を、A国は受け入れなくてもよいのかについて話し合う。</li> <li>○ B, C, D国が、A国の子どもの人権を守るためにA国へ軍隊を送り込むことには問題はないのかについて話し合う。</li> <li>○ A国とB, C, D国が、話し合いを通して価値や方針を調整していくことはできないのかについて話し合う。</li> <li>○ 単元の学習問題をつかむ。</li> <li>● 地球規模の問題を解決するために、世界の国々はどのような取り組みを行っているのだろう。</li> </ul> <p>2 国際社会と持続可能性について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 国際社会において、持続可能性とはどのような考え方なのだろう。</li> <li>○ 身近なものがどこで生産されているかについて調べる。</li> <li>○ 「持続可能性」という考え方を知る。</li> <li>○ 身の回りにある持続可能性を意識したものや取り組みについて話し合う。</li> <li>○ 小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</li> <li>■ 国際社会において、持続可能な社会を実現するために大切なことは何だろう。</li> </ul> <p>3 国家と国際関係について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 国際社会は、どのように成り立っているのだろう。</li> <li>○ 国家の成り立ちについて調べる。</li> <li>○ 国際関係の成り立ちについて調べる。</li> <li>○ 「国際協調」という考え方を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教P. 176～P. 177</li> <li>・ 「日本国憲法と基本的人権」の学習を振り返らせる。</li> <li>・ 個人の尊重、対立と合意、国際協調といった見方・考え方から問題を捉えさせる。</li> <li>・ 「日本の平和主義」や、歴史的分野での学習を振り返らせることで、軍隊を送るという手段の是非について考えさせるとともに、戦争を回避するためにA国の子どもの人権が無視されてもよいのかについても考えさせる。</li> <li>・ 「現代社会の見方・考え方」での学習を想起させ、個人間での対立と合意の延長線上に国家間の対立と合意があることに気付かせる。それにより、見方・考え方を生かすことで国家間の対立についても合意することができるのではないかという思いをもたせる。</li> <li>・ 教P. 178～P. 179</li> <li>・ 持続可能な社会を実現する上で不可欠な要素に着目して追究させる。(持続可能性)</li> <li>・ 普段我々が消費しているものの多くは外国で生産されており、それらを生産するためには多くの労働者や資源が注ぎ込まれていることを捉えさせる。</li> <li>・ 前時の漫画を振り返らせることで、労働者の労働環境等についても考えさせたい。</li> <li>・ 「持続可能性」とは、将来の世代が自分たちの必要性を満たすことができるようにしながら、現在の世代の必要性も満たすことができることであることを知らせる。</li> <li>・ 具体例としては、プラスチックストローを紙ストローに転換する取り組みや、ソーラーパネルの設置、レジ袋の有料化などが挙げられる。</li> <li>・ 教P. 180～P. 181</li> <li>・ 国際社会での対立と合意や国際協調に着目し国家主権と関連付けて追究させる。(対立と合意、国際協調)</li> <li>・ 地理的分野での学習を想起させ、国家の三要素を捉えさせるとともに、国旗・国歌が国際社会の中で重要なシンボルとなることに気付かせる。</li> <li>・ 歴史的分野での学習を想起させ、現在の国際関係が成り立った経緯についてまとめさせる。</li> <li>・ アクティビティに取り組みせることで、国際協調が損なわれると平和が損なわれたり、人権の侵害につながったりするなどの悪影響が世界規模で発生する可能性があることに気付かせる。</li> </ul>

- 4 日本の領土をめぐる問題について調べる。  
★日本の領土や領海をめぐる問題には、どのようなものがあるのだろう。
- 日本の領域と排他的経済水域について調べる。
  - 日本の領土をめぐる問題について調べる。
    - ・尖閣諸島は、1895年に日本政府が領土に編入後、日本の領土として扱われてきた。しかし1970年代、東シナ海に石油埋蔵の可能性が指摘されると、中国は突如として領有権を主張しはじめた。
  - 日本の領土をめぐる問題について、合意に向けてどのように相手国と話し合うとよいかを話し合う。
- 5 国際連合の目的とはたらきについて調べる。  
★国際連合はどのような目的で設立され、どのようなはたらきをしているのだろう。
- 国際連合の成立と目的について調べる。
  - 国際連合のはたらきについて説明する。
  - 国際連合総会では、なぜどの国も等しく一票をもつのかについて考える。
    - ・国際連合の四つの目的には「平和」「安全」「友好関係」「人権の保障」「国際協力」等のキーワードが謳われており、これらを実現するためには国家間による上下関係や差別があってはならず、公平・平等・対等な関係でなければならないから。
- 6 グローバル化と地域統合について調べる。  
★グローバル化や地域統合の利点と問題点には、どのようなものがあるのだろう。
- 地域統合と地域協力の動きについて調べる。
  - グローバル化や地域統合の利点と問題点について調べる
- 7 世界のさまざまな文化や宗教について調べる。  
★現代の世界において、文化や宗教と政治はどのような関わりをもっているのだろう。
- 文化、宗教と政治を考えるために必要なことを知る。
  - 現代世界に文化、宗教が与える影響について調べる。
  - 宗教や文化の多様性を相互に尊重することの意味について考える。
- 8 現代の戦争と平和について考える。  
★現代の紛争には、どのような特徴があり、それに対して日本はどのように関わっていくべきなのだろう。
- 現代の紛争の特徴について調べる。
  - 東アジアの変化と課題について調べる。
  - 東アジアの安定のために、日本はどのような政策をとっていくべきかについて考え、話し合う。

- ・教P. 182～P. 185
- ・領土問題の内容や、解決の難しさについて、対立と合意に着目して追究させる。（対立と合意）
- ・資料①から、沖ノ鳥島がもつ排他的経済水域の面積が、日本の国土面積よりも広いことを捉えさせる。
- ・周辺国の行為や主張の内容を捉えさせるとともに、日本の主張との間で対立が起こっていることに気付かせる。
- 【評】日本の領域と、それらをめぐる日本と外国の主張の対立や論点について調べ、まとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する
- ・教P. 185の「世界の領土問題とその解決」を参考にさせ、国家間の話し合いでは、国際法に基づいて主張していくことが大切であることに気付かせる。
- ・教P. 186～P. 187
- ・国際連合のしくみや活動について、国際協調に着目して追究させる。（国際協調）
- ・歴史的分野での学習を想起させ、国際連合が設立した経緯を確認させる。
- ・資料を基に、国際連合の四つの目的を捉えさせる。
- ・資料から読み取ったことを基に、国際連合のはたらきについて説明させる。
- ・国際連合の目的とも関連付けながら、様々な分野において活動を行っていることや、目的を達成するための専門的な機関が存在していることを捉えさせる。
- ・「深めよう」に取り組ませることで、国際連合の目的を達成するためには、国家間による上下関係や差別があってはならず、公平、平等、対等な関係でなければならないことに気付かせる。
- 【評】国際連合総会で、どの国も等しく一票をもつ理由について考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・教P. 188～P. 189
- ・グローバル化や地域統合の利点と問題点について、対立と合意、国際協調に着目して追究させる。（対立と合意、国際協調）
- ・各地の地域統合の目的が、それぞれ異なっていることに気付かせる。
- ・「公民＋α」や本文の内容を基に、利点と問題点をまとめさせる。
- ・教P. 190～P. 191
- ・宗教や文化の多様性を相互に尊重することの意味について、国際協調に着目して追究させる。（国際協調）
- ・政治的、経済的な対立が生じた際に、宗教や文化の違いが強調されることがあることを知らせる。
- ・「公民＋α」にある事例を基に、宗教と生活との関わりや、宗教観の違いによって政治的に重大な対立が生じるおそれがあることなどをまとめさせる。
- ・文化の多様性に寛容になることで、宗教観や文化の違いによる対立を防ぎ、国際平和につながるのと同時に、国際協調による多文化共生社会への実現へとつながっていくことを捉えさせる。
- ・教P. 194～P. 195
- ・現代の紛争の特徴や、東アジアの安定のための日本の取り組みについて、対立と協調に着目して追究させる。（対立、協調）
- ・歴史的分野での学習を想起させ、過去の戦争と現代の紛争との違いに着目させる。
- ・日本を取り巻く東アジアにも課題が山積しており、決して紛争は他人事ではないということに気付かせることで、自分事として捉えさせる。
- ・アクティビティに取り組ませることで、具体的な事例を基に考えさせる。

- 単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。
- 平和で持続可能な世界をつくっていくために、日本や私たちにどのようなことができるのだろう。
- 9 世界の軍縮と日本の役割について調べる。
  - ★国際社会は、どのように軍縮に取り組んできたのだろう
- 軍縮への動きと課題について調べる。
- 軍縮に対する日本の役割について調べる。
- 核軍縮や世界平和の実現のために、日本や私たちにどのようなことができるのかについて考え、話し合う。
  - ・原爆資料館を訪れるなどして戦争についての学びを深め、戦争の悲惨さや平和の大切さを受け継いでいきたい
- 10 日本の平和主義と国際貢献について調べる。
  - ★日本は、世界の人々のためにどのような取り組みをしているのだろう。
  - 日本の国際貢献の様子について調べる。
  - 人間の安全保障を確立させるための取り組みについて知る。
- 11 発展途上国の現状と多様化する世界の様子について考える。
  - ★世界の人口と経済格差の問題には、どのようなものがあるのだろう。
  - 世界人口の推移について調べる。
  - 南北問題と南南問題について調べる。
  - 南北間の格差をなくし、公正な国際社会を実現するためにどのような取り組みができるかについて考え、話し合う。
- 12 限りある資源とエネルギーについて調べる。
  - ★限りある資源やエネルギーをこれからも持続させるためには、どのような取り組みが必要だろう。
  - 増え続ける資源、エネルギー消費量の実態について調べる。
  - なぜ再生可能エネルギーや新しいエネルギーの開発が進められているのかについて考える。

- ・アクティビティの内容も踏まえた上で「深めよう」に取り組ませ、対立と協調の観点から考えを話し合わせる。
- ・教P. 196～P. 197
- ・軍縮への動きと課題について、対立と合意や協調に着目して追究させる。（対立と合意、協調）
- ・第二次世界大戦を経て世界は軍縮の動きを進めていったが、現在では再び軍拡の動きを見ている国や地域があることに気付かせる。
- ・「世界で唯一の被爆国」である日本の使命や国際社会に対して求められる役割について捉えさせる。
- ・憲法の平和主義を大切にすることや、戦争と平和について学び、平和の大切さを伝えていくことなど、具体的な内容で考えさせる。その際、国際協調の視点を大切にさせたい。
- ・話し合い活動を通して、平和な世界を目指して自分も参画していく必要があることを自覚させ、主体的に社会に関わろうとする態度を養う。
- 【評】核軍縮や世界平和の実現のために、日本や私たちにどのようなことができるのかについて考え、話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。
- ・教P. 198～P. 199
- ・日本が平和主義に基づき国際協力を行っていることや、期待されている役割について、国際協調に着目して追究させる。（国際協調）
- ・日本はODAによる資金・技術面での貢献だけでなく、PKOによる人的支援や国際平和への貢献など、幅広く世界の人々のための取り組みを行っていることを捉えさせる。
- ・アクティビティに取り組ませることで、ただ単に支援している訳ではなく、その国がどの程度の支援を必要としているかを見極め、その国に応じた支援を行っていることに気付かせる。
- ・国際協調によって平和で安定した世界をつくるのが、日本の平和や発展とも密接につながっていることを知らせる。
- ・教P. 200～P. 201
- ・南北間の格差をなくすための取り組みについて、公正や国際協調に着目して追究させる。（公正、国際協調）
- ・「世界人口の見通し」と「世界の飢餓状況」の資料とを関連付けさせることで、今後人口が急増していく地域では、現在も飢餓率が高いことから、さらに食料不足が進むであろうことに気付かせる。
- ・世界には経済格差が存在していることや、格差解消のために日本が国際協力を行っていることを捉えさせる。
- ・国単位での経済支援等はもちろんのこと、JICAの活動を紹介するなどして、将来的には個人単位でも発展国の教育活動等に協力できることに気付かせ、それらの活動に取り組みたいという意欲を養いたい。
- ・教P. 202～P. 203
- ・エネルギー構成のあり方について、効率と公正や持続可能性に着目して追究させる。（効率と公正、持続可能性）
- ・資料③から、日本は化石燃料によるエネルギー生産に頼っており、それらを生み出すための資源を外国からの輸入に頼っていることに気付かせる。
- ・持続可能性に着目し、限りある資源はいつか利用できなくなってしまうことに気付かせる。特に日本はそれらの資源の多くを海外からの輸入に頼っているため、新たなエネルギー源の確保は重大な課題である。

<p>○日本のエネルギー問題について考える。</p> <p>13 地球規模の環境問題と国際協力について考える。 ★地球規模の環境問題を解決するために、どのような取り組みが行われているのだろう。</p> <p>○地球規模の環境問題について調べる。</p> <p>○地球規模の環境問題に対する取り組みについて調べる。 ・地球温暖化を防ぐための話し合いが何度も行われたが先進国と発展途上国との間で意見が対立し、なかなか実効性のある取り組みができずにいた。しかし、2015年にパリ協定が採択され、先進国、発展途上国を問わず、全ての国が温室効果ガスの削減目標を作成し、国内対策をとることが義務付けられたことで少しずつ温室効果ガス削減に向けて動き始めている。</p> <p>○地球規模の環境問題を解決するためには、どのようなことが必要かについて話し合う。</p> <p>14 持続可能な社会をつくるための取り組みについて考える</p> <p>★持続可能な社会を実現するためには、どのような取り組みが必要なのだろう。</p> <p>○SDGsについて知る。</p> <p>○SDGsを達成するために何ができるのかについて考え話し合う。 ・日本は「12：つくる責任つかう責任」の達成率が特に低いので、電子機器を大事に使い、買い替えの頻度を少なくしたい。また、食事の残菜を減らすことで、「つかう責任」を果たすとともに、「14：海の豊かさを守ろう」などの項目にも少しでも協力できるようにしたい。</p> <p>15 単元の学習を生かし、地球温暖化に対する政策について考え、話し合う。 ★地球温暖化に対する政策について考えよう。</p> <p>○各党の政策を評価し、比較する。</p> <p>○評価した内容について、話し合う。</p> <p>○話し合いを基に、最終判断を行う。 ・私はワクワク協調党の政策を支持します。なぜなら、大きな事故を起こした原子力発電所は廃止すべきだし、日本国内の二酸化炭素排出量を減らす代わりに、日本の環境技術を発展途上国に提供することで、国際協調を行いながら世界全体の二酸化炭素排出量を減らすことができ、持続可能な社会につながると考えるからです。</p>	<p>・アクティビティに取り組ませることで、効率と公正と持続可能性の観点から日本のエネルギー問題について考えさせる。その際、東日本大震災以降、特に重要視されるようになった原子力発電の安全性など、発電方法の短所にも注目させる。</p> <p>・教P. 204～P. 205</p> <p>・地球規模の環境問題の解決に向けた取り組みについて、対立と合意や国際協調に着目して追究させる。（対立と合意、国際協調）</p> <p>・地理的分野での学習を想起させ、様々な環境問題が、国境を超えて地球規模の問題へと移り変わっていることに気付かせる。</p> <p>・アクティビティに取り組ませることで、国際協調を図りながら環境問題解決へ向けた取り組みを行っているだけでなく、先進国と発展途上国との間に対立が生じていたことも捉えさせる。</p> <p>【評】地球規模の環境問題に対する取り組みについて調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・「国際協調が必要である」というだけに留まらず、「パリ協定の実効性を高めるにはどうしたらよいか」や「私たち一人一人にできることは何か」といったより具体的な内容について話し合わせたい。</p> <p>・教P. 206～P. 207</p> <p>・持続可能な社会の実現について、SDGsと持続可能性に着目して追究させる。（持続可能性）</p> <p>・SDGsとは、2015年から2030年までの15年間で、持続可能でよりよい世界をめざすために採択された、17のゴールと169のターゲットに整理された国際目標のことであることを知らせる。</p> <p>・「深めよう」に取り組ませることで、持続可能な社会を実現するためにできる取り組みについて、SDGsの17の目標に照らし合わせながら考えさせる。</p> <p>・国として何ができるかだけでなく、個人としてどのような取り組みが可能かを考えさせることで、自分自身も持続可能な社会をつくる一員であることを自覚させ、今後の社会に主体的に関わろうとする意欲を養いたい。</p> <p>【評】SDGsを達成するために何ができるのかについて考え、話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・教P. 208～P. 209、教表紙裏</p> <p>・これまでに学習した、持続可能性、対立と合意、効率と公正、国際協調といった見方・考え方を複合的に用いて追究させる。</p> <p>・「判断基準の例」や「先生からの視点の提供」を参考に、それぞれの政党の政策について評価や比較を行わせる。</p> <p>・この段階での支持政党を仮決定させておくことと最終判断時に思考の変容を見ることが出来る。</p> <p>・なぜその観点をその点数にしたのかについて理由を明確にして話し合わせる。</p> <p>・話し合いの結果も踏まえた上で、多面的・多角的に各党の政策について比較させ、判断させる。その際、最初に仮決定した時の考えと現在の考えとを比較させ、思考の変容を捉えられるようにする。</p> <p>【評】地球温暖化に対する政策について、見方・考え方を生かして評価したり、話し合ったりしたことを基に考えをまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 備 考 】